

「レイチェル・ハウスと北九州の自然フィールド探訪ツアー」のご報告

2023年11月2日(木)・3日(金)・4日(土)の3日間、『沈黙の春』出版60周年企画イベント vol.2として「レイチェル・ハウスと北九州の自然フィールド探訪ツアー」が実施されました。

伊良原ダムの中にある「レイチェル・ハウス」の正式名称は「伊良原自然体験施設」です。

2018年の伊良原ダム完成時に86戸が水没し、地域活性化の事業として約5ヘクタールの森林公園が整備されました。その中心にあるのが、米国にあるレイチェル・カーソンの別荘を再現したこの建物。コロナ禍が重なったこともあって、九州北部での認知度アップはこれからのようです(福岡県京都郡みやこ町犀川下伊良原1924-28)。

今回は、このレイチェル・ハウスを拠点にして、車で10分ほど上流にある「じゃぶち森のビレッジ・コテージ」等に宿泊し、川を車で40分以上下った河口付近にある曾根干潟、そして国内有数のカルスト台地で国の天然記念物である平尾台を訪れました。当初、定員10名として企画していましたが、移動手段提供の協力者も得られたため、のべ13名(全期間参加9名、1泊2日参加4名)でのツアーとなりました。主催はレイチェル・カーソン日本協会関東フォーラム。伊良原自然体験施設管理組合、心森舎(こころもりしゃ)にも共催として加わっていただきました。

今回のツアーの目的は、次の3つです。

- (1) レイチェル・カーソンの別荘を再現した自然体験施設を訪問する。
- (2) 国内有数のカブトガニ生息地であり、希少な野鳥の飛来地でもある曾根干潟(そねひがた)を訪れ、自然観察を行うとともに、自然保護の重要性と難しさについて知る機会とする。
- (3) 国内有数のカルスト台地である平尾台(ひらおだい)を訪れ、環境の成り立ちについて知るとともに、自然の保護と利用の実態について理解を深める。

このために、期間中、最高かつ最強の協力者が備えられました。心森舎代表で森林インストラクターや自然体験活動指導者など自然体験活動の資格を多数お持ちの島山昌二さんが企画段階から携わってくださり、現地のすべての観察会の調整から平尾台でのツアーガイドに至るまで大活躍してくださいました。また、レイチェル・ハウスを現地に再現するために米国メイン州にまで足を運ばれた故緒方繁美さん(2023年6月26日逝去)のご長男・緒方孝治さんは、「レイチェル・ハウスと父の思い出」という題でお話くださったのみならず、繁美さん宅を夕食や交流のために開放していただき、伊良原の自然や生活について生の声をたっぷりお聞かせくださいました。

翌2日目には2つのピックアッププログラムがありました。

午前中のレイチェル・ハウスでの写真家・森本二郎さんによる映像とトークの時は、映画『センス・オブ・ワンダー』撮影の裏話や秘蔵写真、それに上遠恵子さんのトークも加わり、時間を忘れてしまう夢のようなひとときでした。

午後は曾根干潟を知り尽くした高橋俊吾さん(日本自然保護協会自然観察指導員、日本カブトガニを守る会福岡支部長)によるガイドツアーを満喫しました。望遠鏡・双眼鏡を覗きながら、目の前にいる普通の「白いサギ」に見える鳥も、実は「クロツラヘラサギ」という絶滅危惧種であること等々教えていただき、干潟が彼らにとってどんなに大切な場所であるか、そして様々な課題もあらためて心に刻みました。締めくくりとなったカブトガニ自慢館での、生きたカブトガニを目の前にしてのお話しは、他のどこでも聞けない貴重なものでした。上遠恵子さんからもレイチェル・カーソンとカブトガニとのエピソードの紹介があり、まるでカーソンが与えてくださった出会いの中に参加者ひとり一人が招かれているような不思議な気持ちでした。

第3日目は平尾台ツアー。ちょっとしたハプニングゆえに少々滞在時間が短くなってしまいましたが、ツアーの締めくくりは、太陽の光と風を肌で感じる中で、島山さんによって朗読されたカーソンの言葉でした。

参加者ひとり一人が様々な役割を担いあい(会計係、事務作業、写真提供、車の運転など)、地元の方々のご協力に支えられつつ、みんなで作り上げたツアーについて、写真と行程表と共に、感謝をもってご報告いたします。

(報告者：田村博)

「2023・伊良原ツアー(レイチェル・ハウスと北九州の自然フィールド探訪ツアー)」行程表

	11月2日(木)	11月3日(金)	11月4日(土)
9:00am		起床 朝食(コテージごとに) レイチェル・ハウスへ移動(車)	起床 朝食(コテージごとに) 荷物整理など
10:00am		★プログラム② ・写真とトーク (写真家・森本二太郎氏)	平尾台へ出発(車) ↓
11:00am	《各自、航空機、JRにて移動》		★プログラム④ ・平尾台(国内有数のカルスト台地 ・国の天然記念物)ガイドツアー (ガイド:島山昌二氏) 途中、昼食はお弁当
12:00am		↓ 曾根干潟へ移動(車) 途中 パン工房「麦の穂」にてランチ ↓	
1:00pm		後半参加者JR朽網駅集合(1:30pm)	
2:00pm	北九州空港集合(1:30pm) ↓(車) JR行橋駅集合(2:00pm) ↓(車)	★プログラム③ ・野鳥観察地散策 ・「カブトガニ自慢館」見学 ・干潟散策 (ガイド:高橋俊吾氏)	平尾台出発(2:00pm) ↓(車) JR苅田駅(2:30pm) ↓(車) 北九州空港(3:00pm)
3:00pm	伊良原(レイチェル・ハウス)到着		《解散・各自帰宅》
4:00pm	★プログラム① ・オープニング・セッション ・レイチェル・ハウス、自然体験 施設めぐり(案内:島山昌二氏) ・「レイチェル・ハウスと父の思い出」 (緒方孝治氏)	↓ JR朽網駅(4:30pm) ↓(車) 北九州空港(5:00pm) ↓(車)	
5:00pm	コテージへ移動(車)	夕食(カキ小屋「はまたろう」にて)	
6:00pm	夕食(コテージにて)		
7:00pm		コテージへ移動(車)	
	自由時間・就寝	自由時間・就寝	



2023.11.2(木)～4(土) みやこ町伊良原「レイチェル・ハウス」
～「曾根干潟」野鳥&カブトガニ観察～「平尾台」カルスト台地



書斎



居間



レイチェル・ハウス（伊良原森林公園 環境教育棟）

伊良原森林公園・ダム湖



レイチェル・ハウス全景



玄関前 参加者全員で



故・緒方繁美さん宅



カブトガニ自慢館



平尾台のカルスト台地



曾根干潟

